

〈ご参考〉



GMO REPORT 2017

2017年12月期 決算報告

目次

連結業績ダイジェスト……………	60
「仮想通貨領域で 世界No.1を目指す」 仮想通貨マイニング事業……………	61

連結業績ダイジェスト

▼ 業績予想に対する実績

営業利益・経常利益は1Qの金融の遅れで未達も
最終利益は達成し最高業績を更新

(億円)	2016年 実績	2017年		前期比
		予想	実績	
売上高	1,350	1,450	1,542	+14.2%
営業利益	170.1	190.0	176.4	+3.7%
経常利益	166.8	185.0	173.1	+3.8%
最終利益	72.3	80.0	80.3	+11.0%

▼ 業績予想

2018年度は、為替や株式、仮想通貨など市場環境の影響を受ける複数の事業について合理的な見通しが困難であることから、業績予想は非開示とさせていただきます。なお、2018年3月より「仮想通貨事業」の関連指標を月次にてご報告することを予定しており、資本市場、株主の皆様とは継続的にコミュニケーションを図ってまいります。

▼ 配当予想

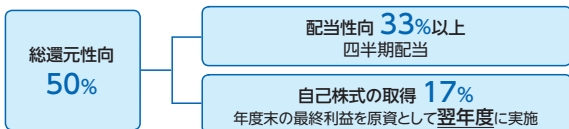
2017年度の期末配当は、「配当性向33%以上」を基本とする従来の方針により、1株当たり**6円**とさせていただきます。これにより年間配当額は同**23円**(配当性向 **33.1%**)となりました。

(円)		1Q	2Q	3Q	4Q	配当総額	
2015年	増配	2	—	2	14*+1	19	38
	普通配	4	5	5	5	19	
2016年	増配	—	—	—	1	1	21
	普通配	5	5	5	5	20	
2017年	普通配	5	6	6	6	23	

*GMOクリックホールディングス(現：GMOフィナンシャルホールディングス)株式売却による特別利益の増配分

▼ 総還元性向

当社は「総還元性向50%」を株主還元の目標とし、最終利益の50%から配当総額を引いた金額で自己株式を取得する方針です。当社は「総還元性向50%」という基本方針に基づき、最終利益の33%以上を配当、残りの約17%を原資とした自己株式の取得を実施しております。



▼ 自己株式の取得

2018年は、13.6億円、100万株を上限とした自己株式の取得を2018年2月13日から12月28日までに実施する予定です。

「仮想通貨領域で 世界No.1を目指す」

仮想通貨マイニング事業

インターネットが情報に関する「境界」を世界から取り除き、世界のあり方を変えたように、仮想通貨はお金に関する「境界」を世界から取り除き、世界の経済を大きく変える可能性を秘めています。仮想通貨、ここでは最も市場価値が高いビットコインについてご説明しますが、ブロックチェーンというネットワーク上に分散管理された台帳に取引を記録する計算処理を実行し、その報酬を得る=マイニング事業を、当社は2017年12月より開始しました。全世界でマイニングに参加しているコンピューターの計算スピード容量は、2万PH/sを超え、マイニング事業者は計算効率をいかに高めるかという生存競争を繰り広げています。

当社グループは、12nmFFCの最先端半導体チップを共同パートナーと開発に成功し、下期からは7nmの半導体チップの稼働、そして「Z.com Cloud Mining」にてクラウドマイニング事業を開始する予定です。他社よりも優位性の高いマシン、電気効率の良い環境に加え、当社グループのインフラ・金融事業で培ったノウハウを最大限発揮してまいります。インターネットが私たちの生活を豊かにしてくれたように、世界を変える可能性のある「仮想通貨」を全ての人に便利に使いやすく提供し、この仮想通貨領域で世界No.1を目指してまいります。

仮想通貨領域で世界No.1を目指す

